

代表質問(要旨)



議員 齋藤 英彰
進 市選出
民 立 一括方式

県北振興

議員 県北地域の人口減少に歯止めがかかっていない現状を直視し、より積極的、より大胆に県北振興に取り組むべきである。今後、県北振興にどのように取り組んでいくのか。

知事 これまでも「定住人口の確保」、「交流人口の拡大」、「生活環境基盤の充実」を基本方向にさまざまな施策に取り組んできた。県北振興は県総合計画でも重点プロジェクトの一つに位置付けており、今後は、これまでの取り組みに加え、新たな交流機会の創出や観光誘客、地域の活力の維持・向上などの施策



議員 田村 けい子
明 市選出
公 一括方式

茨城県総合計画の推進

議員 県総合計画推進のために、県民一人一人が計画の基本理念を共有し、いばらきづくりの担い手として取り組むことが重要である。計画推進に不可欠の要素である「県民参加」をどのように推進していくのか。

知事 県政出前講座による周知などのほか、新たに作成した児童・生徒用広報冊子を授業など

を強力に推進していく。

女性の活躍推進

議員 将来の労働力の確保や国民のニーズの多様化、グローバル化に対応するためにも女性の活躍推進は大変重要である。働く女性が活躍できる社会を実現するため、今後、どのように取り組んでいくのか。

知事 県内の企業に対して、働く女性がより一層活躍している職場づくりを推進するためのさらなる取り組みを働き掛けるとともに、本年五月に立ち上げた「女性活躍推進会議」の意見も踏まえ、中小企業の課題解決のための方策について検討していく。

市町村の広域連携推進

議員 少子高齢化が続く中、行政サービスを維持していくには市町村間の広域連携が必要であ

で活用し、次代を担う子供たちへも意識啓発を図っていく。また、施策ごとに取り組むの主体と役割を具体的に示し、いばらきづくりへの参画を促している。

障がい者等の活躍支援

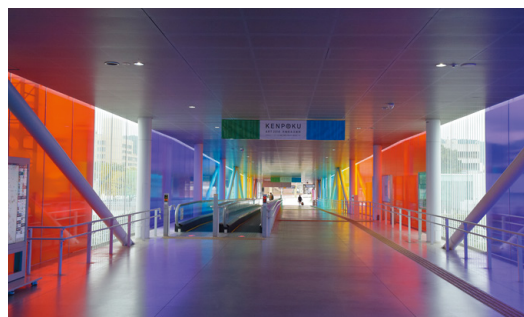
議員 障がい者などの活躍支援にどう取り組んでいくのか。

知事 障がい者の就労支援については、就職面接会の開催などを行っており、さらに低利融資制度によるインセンティブ※などの導入については、他県の成果などを踏まえ検討していく。

難病患者の就労支援について は、就労支援を含めた相談支援体制を今年度中に整備するほか、

る。今後、市町村の広域連携推進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

知事 市町村の自主的な取り組みを尊重しつつ、広域連携に関する情報提供や、連携テーマの提案、検討会への参画などにより、広域連携に向けた取り組みを積極的に支援していく。



県北振興の取り組みの一つである県北芸術祭の様子 (JR日立駅)



議員 半村 登
自民県政クラブ
猿 島 郡 選出
一括方式

圏央道沿線地域の持続的な発展に向けた取り組み

議員 圏央道沿線地域における将来を見据えた持続的な発展に向けてどのように取り組むのか。

知事 圏央道の県内区間全線開通により本県の立地優位性は格段に高まることから、この機会を逃さず、多くの企業を誘致し、定住人口の増加など地域の発展につなげていくことが重要である。県では沿線市町が進める開発計画の実現に向け積極的に支援するとともに、企業の未利用地などの情報収集・提供に努め、誘致に生かしていく。また、金融機関などの連携による企業動向の把握、きめ細やかな情報

難病相談支援センターで新たに就労セミナーを開催していく。がん患者の就労支援については、茨城産業保健総合支援センターと連携したセミナーの開催や、経営者協会などの事業者団体などを通じた啓発に努める。

就学前教育の充実

議員 長野県では、自然保育に関する認定制度を開始し、豊かな体験活動を通じて「生きる力」を育むこととしている。このような動きを踏まえ、本県でも就学前教育を充実させるべきでは

知事 自然体験活動は、これまでも、それぞれの幼児教育施設で取り組まれており、今後、保



県総合計画の児童・生徒用広報冊子(右) (左は一般向けリーフレット)

県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。
また、児童および幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧いただけます。
なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声を掛けください。
その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせください。



お問い合わせ先 電話 029-301-5634

発信などを行い、一社でも多くの企業誘致の実現を図っていく。
東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致
議員 事前キャンプを県内に呼び込むために、今後、どのような方針で取り組むのか。
知事 事前キャンプにより、県民のスポーツに対する興味・関心を高め、国際交流の推進、国内外への本県の魅力発信、地域の活性化を図る効果が期待される。県では市町村や県内大学、競技関係者などと連携を取りながら事前キャンプ誘致に向けた取り組みを進めている。今後とも、市町村との連携・協力の下、各国の動向などを注視しながら、本県内での事前キャンプ実現に向けて全力で取り組んでいく。



開発が進む圏央道五霞インターチェンジ周辺エリア

「攻めのTPP対策」
議員 本県畜産業における競争力強化に資する「攻めのTPP

※【インセンティブ】…目標を達成するための刺激。誘因。外部からの動機付け。